

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>「PLAYERS FIRST!」を合言葉に、子どもを大切に、主役として位置づけ、誰もが生き生きと成長する学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで問題に取り組み、解決し「できた」「わかった」と子どもが実感する授業を構築します。 ・子どもの気持ちを考え、子どもに寄り添う指導を心がけます。 ・保護者や地域とつながり、様々な学びの環境を教育に生かします。 ・教師自身も成長し続ける職場を目指し、チームで子どもたちを育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>思いやりのある心を育て、他者と仲良く学校生活を送るとともに自分も大切に、自信をもって学校生活を送れるようにする。</p> <p>①道徳科では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。学級活動、全校朝会、人権週間を使い、他者と自分を大切にすることを理解し、実践できるよう意図的に授業や活動を行う。</p> <p>②特別活動（たてわり活動・集会）など、異年令活動を充実させ、他者を思いやる気持ちを育てる。</p> <p>③豊かな感性をはぐくむ体験活動を教育活動の中により多く取り入れる。</p>
担当	道徳部 人権教育部

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校は、大人の言うことをよく聞いて何事にも一生懸命取り組もうとする児童が多い。学級でも穏やかに、友達と助け合って過ごそうとしている。地域の協力体制もしっかりしており、読み聞かせやPTA・ボランティア活動など充実した活動で児童の成長を支えている。たてわり活動を通して、クラス以外の友達や上級生、下級生とのつながりも少しずつできてきているが、まだ十分ではない。また、人の気持ちを考えて行動したり、きまりをしっかりと守ったりすることに対する意識の不足が感じられる児童も少なからずいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

昨年度校内重点研究として取り組んだ道徳科をさらに充実させ、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。学校生活全体（各教科・特別活動・人権教育・特別支援教育等との関連）を通して、児童の実態を把握し、思いを受け止め、願いを実現できる場面を意図的・計画的に設けるなど、日々の道徳教育を充実させる。 ※道徳教育全体計画・別業と連動

【項目 体験活動の充実】 ※コロナ対応のため、変更・縮小する活動もあるが、工夫してできる限り取り組んでいく。

- 異学年グループによるたてわり活動を充実させ、年間を通じたたてわり集会、休み時間の遊び、ペア学年活動等、学級集団だけではない異年令同士のつながりを深めていくようにする。
- 本物を見る・本物に触れる・実際にやってみるなどの体験活動を通して、満足感・充実感を味わい、興味関心を広げたり、自分の可能性を見い出したりして、豊かな心を育成していく。